

2026年1月25日(日)

降誕節第5主日

日本基督教団 大宮教会
大宮教会ビジョン
「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」
- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -
(マタイによる福音書28:19~20)

朝 第 1 礼 拝 9:00~10:00

朝 第 2 礼 拝 10:30~11:45

<神の招き>

前 奏 ①愛するイエスよ、私たちはここにいます パッハ
②主なる神よ、我らは賛美します ヴァルター

招きの詞 詩編96:1~13

交読詩編 29:1~11

讃美歌 55

<神の言葉>

聖 書 エゼキエル書36:22~28

(旧約 聖書協会共同訳 1337 頁)

エフェソの信徒への手紙3:14~21

(新約 聖書協会共同訳 348 頁)

祈 祷

讃美歌 357

説 教 「内なる人を強める祈り」

佐藤潤伝道師

祈 祷

黙 想

讃美歌 543

今週の御言葉

どうか、御父が、その豊かな栄光に従い、その靈により、力をもってあなたがたの内なる人を強めてくださいますように。
(エフェソの信徒への手紙 3:16)

<神への応答>

使徒信条

献 金

主 の 祈 り

宣教報告②

頌 栄 25

派遣と祝福

後 奏 ①わが心の底より

J.C.パッハ

②主キリスト、神のひとり子よ

ヴァルター

宣教報告①

次週の礼拝(2月1日) 聖餐式

① 9:00、②10:30

説教「大いなる救い」熊江秀一牧師

詩編8:1~10、

ヘブライ人への手紙2:1~9

交説詩編126:1~6

讃美歌7、55(奉唱472)、451、78、29

日本基督教団 大宮教会

大宮教会ビジョン

「すべての人を喜びあふれる神の家族へ」

- 聖書の御言葉に生きる共同体を造り上げる -

(マタイによる福音書28:19~20)

サテライトチャーチ植竹礼拝 10:30~11:30

夕 礼 拝 18:00~19:00

<神の招き>

前 奏 喜べ、愛する信者たちよ パッハ

招きの詞 詩編96:1~13

交説詩編 29:1~11

讃美歌 2

<神の言葉>

聖 書 詩編36:6~10

(旧約 聖書協会共同訳 852 頁)

ヨハネによる福音書8:12~20

(新約 聖書協会共同訳 177 頁)

祈 祷

讃美歌 52

説 教 「主イエスは世の光」

熊江秀一牧師

祈 祷

黙 想

讃美歌 503

<神への応答>

使徒信条

献 金

主 の 祈 り

宣教報告

頌 栄 27

派遣と祝福

後 奏 主はわが命 パッヘルベル

ワーシップ(讃美礼拝) 14:00~15:00

説教「本当の偉さ」熊江秀一牧師

マタイによる福音書20:25~28

[司式]五味田長老

賛美: 主よこの年も、我らの主に向かって、

リジョイス、主の御言葉待ち望む、

威光・尊厳・榮誉、主の祈り、

誰でもキリストの内に、God Bless You

*礼拝中、起立がご無理な方は、着席のままどうぞ。*は祈祷当番の方。*①は朝第1礼拝、②は朝第2礼拝、夕は夕礼拝。

■今週の祈祷課題■ 独り祈る時、共に祈る時にお覚えください。

1. キリストの体なる教会が豊かに形成される為に
2. 東日本大震災と能登半島地震の被災者の為に
3. 長老会の為に
4. 教会学校の為に
5. 関東教区の為に
6. イスラエルとパレスチナ、ウクライナ、世界の平和の為に
7. 病気の兄姉の為に

***関東教区お祈りカレンダー 東松山教会 越生教会 毛呂教会**

◇先週の説教より「天使にまさる御子イエス」ヘブライ人への手紙1章4～14節、詩編45編1～8節 熊江秀一牧師

ヘブライ書は説教である。説教には祈りが込められる。この書には、主のみを礼拝する信仰を歩んで欲しいという説教者の祈りが込められる。この時代、教会にイエスを天使の一人と理解する人々がいた。

それに対して説教者は、御子イエスは天使たちより「優れた」方、「まさる」名を受け継がれた方と宣言する。この書は天使を礼拝の対象とせず、主のみを礼拝するという教会の信仰を明らかにした。

私たちもこの世の靈的な言葉、占い、まじない等に心奪われ、信仰が歪んでしまう危険性がある。私たちも主のみを礼拝する信仰を歩みたい。

そのためにこの書は旧約の言葉を引用する。

「あなたは私の子、私は今日、あなたを生んだ」（5節）は詩編2編。主イエスが洗礼を受けた時の天からの言葉でもある。神ご自身が御子を私の子と宣言する。

8～9節は詩編45編。王と御子の姿が重ねあわされ、その王座は永遠と歌う。

「あなたの神は、あなたに喜びの油を注がれた。あなたを仲間から選び出して」の「油を注ぐ」は、キリスト（メシア）という言葉になった。御子イエスこそ、天使や何者でもなく、神から選ばれ喜びの油を注がれたキリストである。そしてこの方によって私たちにも喜びが与えられる。なぜなら御子こそ私たちや世界を造られた方だからである。10節以下は詩編102編からの引用である。

御子イエスこそ永遠なる方、私たちを造り、喜びの油を注がれた王として私たちを永遠に治めて下さる方。しかも十字架の贖いによって私たちに喜びの油を与えて下さる。この信仰を歩んでほしいと説教者は祈る。

天使とは神を礼拝する者、御子のために仕える者である。主のみを礼拝し、天使のように、神を礼拝し、主に遣わされて仕える群れとして歩もう。